

# 「霞ヶ浦と太平洋のめぐみ ―塩づくり―」

平成 24 年 10 月 13 日（日）～11 月 25 日（日）

「塩」は、生物にとって欠くことのできないものの一つです。岩塩や塩湖の存在しない国に住む日本人にとって「塩をつくる」ことは「命をつなぐ」ことでした。

この大切な塩を霞ヶ浦沿岸の人々が作っていたことが、奈良時代に編纂された『常陸国風土記』に記されています。その塩を人々は、いつごろから、どのように作り始めたのか、そして今日までに塩とどのように関わってきたのか等を知っていただくとともに、塩づくりに関わった人々の心まで思いをはせていただきたいと思います。



主な展示内容について各章ごとに紹介します。

## 序章 ひたちのくにふどき 『常陸国風土記』

『常陸国風土記』に霞ヶ浦沿岸の「乗濱の里の浮島」で塩づくりが行われていた記述部分を展示します。そして、その塩づくりが、いつごろから、どこで、どのように始まったかを、皆様を次の章からいざなっていきます。

## 第 1 章 うちうみ 3000 年前の塩づくり ―内海での塩づくり―

塩づくりに使われた土器は、東日本を中心に見つかっていますが、その中で霞ヶ浦沿岸の製塩土器は、縄文時代後期の終わり（約 3,200～3,300 年前）のもので、現在のところ最古です。その塩づくりの様子などを製塩土器が見つかる広畑貝塚（稲敷市）、法堂遺跡（美浦村）、上高津貝塚（土浦市）などから紹介します。また、縄文時代の塩づくりを実験から紹介します。



塩づくりのジオラマ  
上高津貝塚ふるさと歴史の広場



第 3 の土器（製塩土器）  
広畑貝塚 茨城県立歴史館

## 第2章 2000年前の塩づくり うちうみ そとうみ -内海から外海へ-

東日本の土器を使った塩づくりの跡は、縄文時代の終わりころに見られなくなりますが、弥生時代の中ごろに、瀬戸内海で再び土器を使った塩づくりの跡が見つかっています。その技術は、各地に伝わりました。その様子を製塩土器の形の変化から紹介します。

また、茨城県でも奈良時代になると、わづみこん輪積痕のある製塩土器が見つかるようになります。そのような土器の広がりをご紹介します。

さらに、各地で作られるようになった塩が、税として都へ納められたこと（木簡）なども合わせて紹介します。



岡山県の製塩土器（ワイングラス状）  
岡山県古代吉備文化財センター



愛知県の製塩土器（ロート状）  
東海市郷土資料館



木簡（複製）  
半田市立博物館



茨城県の製塩土器（奈良時代）  
金木場遺跡 日立市郷土博物館



茨城県の製塩土器（奈良時代）  
鹿の子遺跡 石岡市教育委員会

### 第3章 伝えられた塩づくり えす しんじ ー絵図と神事ー

中世（鎌倉・室町時代）になると、塩づくりが絵図に描かれています。その様子を紹介し  
ます。また、神事の塩づくりから古代の塩づくりの様子を探っていきます。



「親鸞聖人絵伝」（部分・鎌倉時代）

たばこと塩の博物館



『文正草子』屏風（部分・室町時代）

茨城県立歴史館

### 第4章 太平洋での塩づくり ー塩づくりのムラー

ひたちなか市阿字ヶ浦から東海村村松にかけては、砂丘が続いています。発掘調査で、砂  
丘の中から塩づくりの跡が見つかりました。沢田遺跡・長砂渚遺跡（ひたちなか市）、村松白根  
遺跡（東海村）の3遺跡です。それぞれの遺跡から出土した遺物（土器・鉄製品・石製品等）  
や遺構（かんすい 鹹水をためる水槽・かまど 煮つめる竈等）、文献等から、いつごろから、どのような塩づ  
くりが行われていたかなどを紹介します。

また、この地域に伝わる「千々乱風」伝説についても検証します。



ろ過器（第81号鹹水槽出土遺物）

沢田遺跡 ひたちなか市埋蔵文化財センター



第81号鹹水槽遺物出土状況

茨城県教育財団

### 附章 塩の道・陸でとれる塩

この章では、塩の運搬を通して、海岸部と内陸部を結ぶ物資の輸送路が整備されたこと  
を、水戸市域の「塩の道」例にとりながら紹介します。

また、岩塩を中心に日本で見られない、世界の塩の生産方法の一端を紹介します。

## ◇関連イベント情報

### 1 講演会

- (1) 日 時 平成 24 年 10 月 28 日(日) 午後 1 時 30 分から
- (2) 場 所 茨城県立歴史館講堂 (要入館券)
- (3) 講 師 渡辺 誠氏 (名古屋大学名誉教授)
- (4) 演 題 「茨城縄文に始まる日本の製塩」

### 2 ミニ講座

- (1) 日 時 平成 24 年 11 月 4 日(日) 午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分
- (2) 場 所 茨城県立歴史館講堂 (要入館券)
- (3) 担 当 大津史料学芸部長

### 3 展示解説

- (1) 日 時 平成 24 年 10 月 14 日(日) , 11 月 4 日(日) , 11 月 18 日(日)
  - ※11/4 の午後の展示解説はミニ講座終了後
  - ・午前の部11時～(約30分) ・午後の部1時30分～(約30分)
  - ※特別展担当者
  - ナイトミュージアム：平成 24 年 11 月 2 日(金)・9 日(金)・16 日(金)
  - ※入館は、午後 7 時 30 分まで

### 4 「塩づくり実演」と「鹿角ペンダントづくり」(申し込みを締め切りました)

- (1) 日 時 平成 24 年 10 月 20 日(土)
- (2) 内 容
  - ①ペンダントづくり
    - ※先着 30 名(小学生以上、3 年生以下親同伴)、事前申し込み
    - ※ペンダントづくりの参加者は、時間で見学をします。
    - ※塩づくり実演は見学自由です。
  - ②塩づくり実演
    - ※歴史館の駐車場でつくった鹹水を竈で煮つめます。

### (3) 場 所

- ①ペンダントづくり・・・茨城県立歴史館講堂
- ②塩づくり実演・・・・・・庭園

### 5 「紙芝居」と「DVD上映」

- (1) 日 時 平成 24 年 11 月 11 日(日) 午前 10 時 30 分・午後 1 時 30 分  
2 回実施
- (2) 場 所 茨城県立歴史館講堂
- (3) 内 容 紙芝居「東海村の千々乱風」等 ※東海村民話再生の会協力  
DVD「400 年前の最先端技術 塩造りのムラ」等